

第40回全国都市緑化仙台フェア 未来の杜せんだい2023 -Feel green!-



ごあいさつ

仙台市長 郡 和子

国内最大級の花と緑の祭典「第40回全国都市緑化仙台フェア 未来の杜せんだい2023」が本日より開幕いたしました。仙台市では、34年前の1989年に市政施行100周年・政令指定都市移行記念事業として七北田公園にて開催した「'89グリーンフェアせんだい」以来のフェアとなります。2度目の開催となる本年は、自然との調和ある環境の創造と杜の都の伝統ある風土の発展を目指した「杜の都の環境をつくる条例」の制定から50周年を迎えます。こうした節目の年に再びフェアを開催することは大変意義深いことと感じております。

また、「未来の杜せんだい2023」は、多くの事業者や市民の皆さまのご協力のもと、本日の開

催を迎えることができました。これらの活動と経験を、これまで守り育んできたみどりを次世代へと繋げる契機とし、みどり豊かな杜の都のまちづくりをさらに推し進めるよう、今後もしっかり取り組んでまいります。

メイン会場では、仙台七夕の吹き流しをイメージした大花壇「はなばた飾り」や、居久根(いぐね)の暮らしの知恵を活かした緑と暮らす新たなライフスタイルを提案するガーデンのほか、造園関係の企業・団体の皆さまの匠の技が光る個性豊かな庭園など、多彩なコンテンツが皆さまをお出迎えます。

また、まちなかエリアや東部エリアなど、市内各地に会場を設けております。ご来場いただいた皆さまに存分にお楽しみいただけるよう、各エリアでの特色を活かした催し物などをご用意しております。

新緑が煌めくこの季節に、みどり豊かな杜の都へぜひお越しください。



ごあいさつ

(一社)宮城県造園建設業協会 会長
大場 勝雄

「第40回全国都市緑化フェア」は、1989年度に開催された「'89グリーンフェアせんだい」以来、34年ぶりとなります。

今回の仙台フェアは、“杜の都から始まる未来、みどりを舞台に人が輝く”をテーマに、青葉山公園追廻地区をメイン会場に、西公園南側地区、広瀬川地区のほか、まちなかエリア会場、東部エリア会場等と連携しながら開催されます。特に、追廻地区のイベントの案内や観光情報を発信する「ウエルカムゾーン」、公共スペースをイメージした「アーバンフォレストゾーン」、自然と暮らす幸せを新しいライフスタイルとして提案する「杜のリビングガーデン」、そして、仙台

フェアのシンボルである「大花壇ゾーン」は、仙台七夕の吹き流しをイメージしたもので、約150種の球根や花苗17万本株が当協会と市民参画のもと見事に植栽されました。

また、会場と接続した場所に、仙台市の指定・登録文化財である政宗公ゆかりの「残月亭」が仙台市博物館から移築されたのを受けて、当協会は設立40周年記念事業の一環として、「茶庭作庭」の支援を行いました。作庭に当たりましては、わが国の伝統技能を受け継ぎ、「美」の奥深さや多様性を踏まえた“仙台商しき”を取り入れた設えとなっておりますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

このようにフェア会場全体が、「杜の都・仙台」の魅力を実感できるとともに震災の記憶の継承とみどりの復興を感じていただけるものと思います。この機会にぜひ多くの皆さまにご来場いただきますようお願いしております。

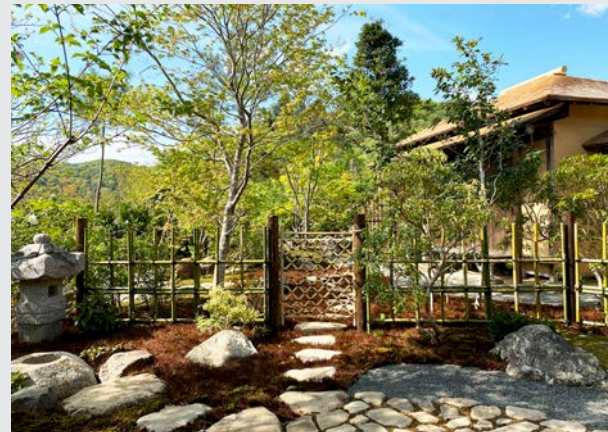


全国都市緑化フェアは、都市緑化の意識高揚や知識の普及を図り、緑豊かな潤いのある都市づくりに寄与することを目的に開催される。緑化フェアは4月26日から6月18日までの計54日間行われる。

宮城県造園建設業協会 設立40周年記念事業 残月亭茶庭

コンセプト

「残月亭」の移築(仙臺緑彩館南側)にともなう茶庭の作庭は、(一社)宮城県造園建設業協会設立40周年記念事業として、仙台市と「残月亭移築に伴う茶庭作庭への支援に関する協定書」を締結し行われた。協会の総力を結集して設計、監修を行い完成させた茶庭は、杜の都・仙台にふさわしい歴史的空間を創造させるものとなった。



「残月亭」は、手を加えない自然と歴史性、周辺との連携を重んじた青葉山公園内に位置することから、茶庭(露地)は西側青葉山の緑樹を借景に、枯流れの源流を青葉山から水系を辿る様に配置した。

樹種については、青葉山に自生する樹木とのつながりを基本に選定し、公園内施設や園路からの目線と動線にも配慮した植栽配置としている。そこには、青葉城ゆかりの石材や地産の自然材を多く利用し、伝統的な庭園技法を随所に配置することで、茶庭を訪れる人々に残月亭の歴史的理解を深めていただけるように設計した。

また、残月亭という名から、古来より月を愛で、中秋の名月などを楽しんできた人々の営みと、日本人の季

節の移ろいを機微に捉えてきた感性、一木一草に心を配る自然観をコンセプトに「時間の経過によって表れる変化が織りなす多様な美しさ」への気づきとなるよう計画した。

設計意図に込めた思い

仙台藩祖伊達政宗公も、月に思いを
はせ詠んだ和歌がある。

稍まで咲きも残らぬ花にまた
さやけき月の 光さへそふ

出づるより 入る山の 端はいづくぞと
月に間はまし 武蔵野の原

曇りなき 心の月を 先だてて
浮世の闇を 照らしてぞ行く

(辞世の句)

政宗公の生きた時代は、先の分らない戦国の世だった。

「月の光を頼りに道を進むように自分の信じた道を頼りにただひたすら歩いた」と詠み、見ていたであろう月を、同じように政宗公ゆかりの残月亭で垣間見て、歴史の積み重ねと今の時代の繋がりを想起する先人へ馳せる思いも込めた。



古き良き日本庭園

里山の風景をイメージしました。古き良き日本庭園の素晴らしさを後世に伝えたい。この庭をみた人に故郷の景色を思い浮かべられるような庭に仕上げました。懐かしさを感じていただければと思います。



技術と誠実で奉仕する
株式会社 岩沼造園土木

代表取締役 大友 一則

〒981-1106 仙台市太白区柳生六丁目10番地の4
TEL.022(242)5092 FAX.022(242)5093



日本一の街路樹、ケヤキ並木のある定禅寺通
ケヤキのみどりの足元に、花の演出を行いました。
フラワーアーチなどビュースポットを楽しみながら
みどりと花に癒される散策をお楽しみください♪

ひと・まち・みどりの杜づくり

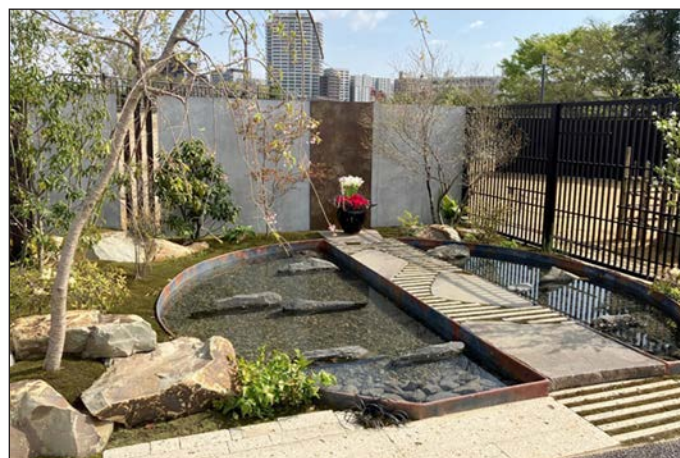
おかげさまで50周年



東洋緑化株式会社

代表取締役社長 石出 慎一郎

仙台市青葉区柏木1丁目1番8号 ポラリスビル



『秘めたる鼓動』

宮城の地形を表現しつつ、東北人の想いを表現しました。

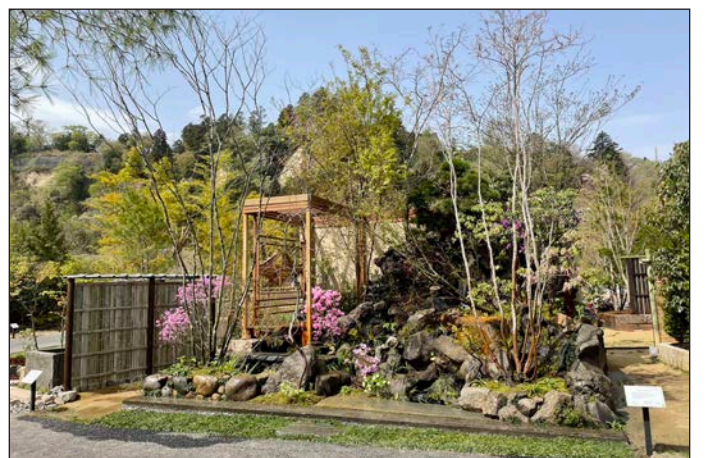
- ・静寂の中にも力強さと美しさを持っている姿(枝垂桜)
- ・静かに夢に向かう姿と未来への架け橋(アプローチ)
- ・事を荒立てて欲しくない想い(穏やかな海)
- ・自然の静けさこそが日々の幸せ(全体)



株式会社
NIWAYA

代表取締役 千葉 正幸

〒983-0038 仙台市宮城野区新田5-1-6
TEL.022(766)8690 FAX.022(766)8816



『居杜(いと)』

長い年月をかけて育んできた豊かな緑の都。
水辺で遊ぶほほえましい子ども達、デッキでゆっくりとティータイム。
情景を奏でる居心地のよい杜づくりで人と人を紡いでいく。
観て感じる空間創作と身近に触れて遊べる
「遊・触・観」の庭を目指して。



株式会社

齋藤園

代表取締役 齋藤 健

〒981-3111 仙台市泉区松森字前沼48-2
TEL.022(373)3934 FAX.022(375)9622

